

〈特集〉

第70期がスタート

社長・部門長の 次の一手

濱田重工が、この先目指すべき姿とは、いったいどのようなものなのか。第70期のスタートとして、松本社長と各事業部門長に、前期の振り返りと今期への想いを伺いました。トップと事業部門長の想いを皆で共有し、持ち場・立場で求められる役割を確実に推進していきましょう。



第70期がスタート

「基本の再徹底」と

急速に変わる社会環境への対応を

8月1日から、当社の第70期および中期経営計画「72中期」がスタートしました。中期計画も踏まえた今期の課題と目指すべき将来の姿について、社長に聞きました。

代表取締役社長
松本豊



基本ルールを守り トラブル発生に歯止めを

―第69期を振り返り、良かった点・反省すべき点は？

第69期中に創業120周年を迎え、熊本地震による被災から2年で、歴代2番目の売上高を記録するまで回復することができました。お客さまからの負託に、「二人ひとり」が「誠心」を持って対応し、評価いただいた結果だと感じています。

反省すべき点は、安全・業務・その他トラブルの頻発で、大事には至っていないものの、基本的なルールを守っていれば防げたものが少なくないということです。

4つのキーワードで 組織力を強化

―第70期からスタートする「72中期」について教えてください。

経営環境は急速に変化し、不確実性がさらに高まっています。「72中期」では、4つのキーワードを経営指針として進めていきます。

まずは基本行動を徹底し、安全・環境・防災活動に取り組むことです。労働

人口減少への対応としては、省力化・自動化を進めていく必要があります。優秀な人材の確保・育成のためにも、職場環境・制度の見直しやインフラの整備が急務です。

そして何より大切なのは、役員・管理・監督者は部下へ「指導指示・命令」を、部下は上司へ「報告連絡・相談」を適時適切に行うことです。密な状況確認や相互注意で、生産現場や事務所のトラブル防止・納期管理に努めてください。

変わらぬ誠心を持ち 変化に柔軟に対応する

―創業130年・140年はどうなっていくのでしょうか？

企業の永続性という観点からも、社員の皆さんが安心・安全に働ける会社であり続けること。そして「誠心」を持って、その時代やお客さまの要請に、柔軟に対応していくことが必須です。新たな事業も創出し、将来に期待を抱ける段階に成長していきましょう。

これらが実り、労働人口の減少下でも濱田重工に入社したいと考える方々が増えていることを願っています。



中期経営指針

①「基本行動の徹底」実践による、無災害職場の実現

自然にかつ当たり前にルールに沿った基本行動と相互注意ができる職場をつくり上げる。

②将来を見据えての事業基盤の強化

人材不足を強く意識し、徹底的な仕事の改善と省力化により生産性を向上させる。

顧客からの信頼向上と収益改善により仕事の付加価値を高める。事業基盤強化と、新規事業領域へのチャレンジを実行する。

③魅力ある会社づくりによる人材の確保

環境変化に対応した採用を実行する。優秀な人材を輩出し続けるための育成に取り組む。

④信頼されつづける企業運営

不測の事態に備え、事業継続施策を実行する。

My Portfolio 心のよりどころ の1枚

常に持ち歩く写真、携帯電話やパソコンの待ち受け画面にしている、「心のよりどころ」を教えてください。



「街を彩る東京タワー」

写真は、今年で60周年を迎える東京タワー。夜空にライトアップされた首都東京のシンボルに、心惹かれました。

さまざまな課題がありますが、この3年間で、将来に向かって確実な成果を上げる中期したいと思います

部門長の決意



八幡支店長
具島 昭さん

安全体質と 製造実力 向上に向けた 改革を

第70期のスタートにあたり、事業部門長に前期の振り返りと第70期の取り組みについて話を聞きました。部門長の「新たな方針」をもとに、私たち一人ひとりが目標に向かって前進していきましょう。また、大切にしている「心のよりどころ」の写真もご紹介します。

各々の頑張りが実を結び 社外表彰を多数受賞

第69期は、新日鐵住金(株)殿の第64回大河内賞受賞(省資源・環境調和型・高生産性ステンレス製鋼プロセスの開発)に伴い、当社八幡支店も八幡製鉄所から感謝状を受けました。

また2017年度八幡製鉄所YJK活動において、協力会社表彰で4年連続金賞(1位)を受賞。さらに平成30年の八新会YJK活動で、3年連続で特別最優秀賞(1位)を受賞しました。八幡支店のものづくりに対する実力の高さが評価された証だと思います。

安全体質と製造実力向上に向けた 変革・機械化・IT活用を図る

所業績評価でも明確ですが、第69期は休業以上の災害ゼロ達成と製鉄所の設備課題問題発見と早期補修、さらに公共工事の完全無災害での完遂。また、選炭物流課の落炭管理での八幡製鉄所への貢献は、八幡支店の技術の高さが認知されたと言えます。皆さんの努力に、心から感謝申し上げます。

第70期は安全体質向上による、休業災害ゼロの継続(特に非定常作業時のトラブル防止)、製造実力向上へ向けた変革(抜本省力化の早期推進)、機械化、IT活用による少要員体制の確立と固有技術(コークス炉補修や落鉱回収技術など)の向上を目指します。

休業以上の災害ゼロを継続させる

一昨年4月20日の休業災害は、若年化していくなかでの管理・監督者の指導不足と個々人の安全意識の低下が原因だと痛感しています。「非可働処置の徹底」を合言葉に、帯同教育を柱とした朱ヘル・1人作業非定常作業での災害撲滅を全員が一丸となつて集中して進めました。その結果、休業以上の災害ゼロを継続中です。

今後も、若年化が進むなかで、安全で規律ある職場の継続に向け、①一人ひとりが自覚を持ち②チームとして相互に助け合い③管理者が熱意と部下への思いやりを持ち、直協全員が前向きに戦う集団となるように期待したい。実現するために決して諦めることなく、目標達成に向け、心を二つにして頑張りましょう！

心のよりどころの1枚

「ニュートンのリンゴの木」



この写真は、山口県にある常磐公園で撮影しました。常に課題に対して考え続けていくと、自然の現象「リンゴが落ちる」とにも敏感になれるはずですよ。私は、この気持ちを持ち続けたいと思っております。自分を鼓舞するために、いつも眺めています！

基本の徹底！ ルールを守り 当たり前のことを 当たり前に実行

光支店長
榎野 伸幸さん

4期連続で売上高新記録を更新

第69期は、利益計画の超過達成（4期連続で売上高新記録更新）を成し遂げました。第67期から開始した薄板工場の作業や第69期から新たに開始した棒線工場での作業、環境マスタープラン関連作業などによる請負業務の拡大に加えて、工事の受注量拡大が大きく寄与しています。

従来から従業員一人ひとりが業務に真摯に向き合い、その品質を高めてきたことがお客さまの評価につながり、この成果に結びついたと思っています。

安全、人材確保・育成、利益計画の達成が課題

第70期は、次の課題を掲げます。

- ① 災害ゼロ環境事故ゼロの達成
- ② 要員確保・人材育成の推進
- ③ 利益計画の確実な達成

災害ゼロの達成については、残念ながら昨年12月に5期連続してきた無災害記録が途絶えてしまいました。すべての業務の基本である安全を確保することで、お客さまからの信頼も増し、さらなる業績拡大につながるかと考えています。

また、労働人口が減り続けるなか、人が最も重要な経営資源である当社にとって、人材確保は最大の課題です。積極的なPR活動による知名度・採用力アップを図るとともに、作業環境改善を中心とした、働きやすい働きのある職場の構築で、定着率アップを目指します。

利益計画の確実な達成については、光支店の基盤強化とそれによる全社収益改善への貢献を目指していきます。

現場からの意見・提言でより安全な職場づくりへ

そのために第70期は、基本の徹底！ルールを守り、一人ひとりが当たり前のことを当たり前に実行します。一方で、ルールを守りやすい、より安全な職場環境をつくるために、作業方法や設備の改善を推進する必要がありますが、現場からの意見・提案を積極的に出していきたいと思えます。

これが、安全のみならず、人材育成・定着、さらには支店業績の拡大にもつながります。今まで以上に、上司・同僚部下と積極的に話し合い、より一層風通しの良い職場とすることで、支店全体の實力アップにつながっていきましょう。

心のよりどころの1枚

「23年前の家族写真」

この写真撮影後に、4回の引っ越しをしました。常には、常に部屋に飾っています。23年が経過し、色あせてしまいましたが、このとき生まれたばかりの三女も今年から社会人として独り立ちしました。今は妻と2人の生活ですが、家族の絆はいつでも変わらずに続く、この写真を見るたびに思います。



現場と管理者の コミュニケーションで 「風通しの良い職場」へ



君津支店長

中村 圭一さん

部署間の連携がなされ 組織や個人の理解が深まる

この文章をしたためているのは7月3日。ワールドカップ決勝トーナメントで日本はベルギーに惜敗しました。しかし非常に素晴らしい、心を揺さぶる戦いぶりでした。2ヵ月前まで誰がこのような結果を予想したでしょうか。2ヵ月間で日本チームが成し遂げたことは、何よりも「チームワークの大切さ」を我々に教えてくれているように思います。

翻つて、君津支店が第69期に成し遂げてきたことは、と考えると、昨年から進めてきた「安全・環境・防災を核とした業務運営」がしっかりと定着し、その上に「自主安全活動」や「仕掛けパトロール」のような新しい取り組みが加わりました。これらを軸として、現場と管理者間のコミュニケーションが活発化し、「規律ある風通しの良い職場づくり」の階段を二歩、二歩と進んだように思います。

これは管理者と現場の間だけでなく、例えば総務・人事グループと各現場というような、これまではちよつと離れていた組織や個人の間での連携や相互理解が進むことにもつながりました。いわば支店全体の「チームワーク」がとれるような形に近づきつつあるということです。

一人ひとりが自分の役割を理解して 力を合わせて取り組む

第69期で一番うれしく思うことは、支店全体のチームワークが生まれつつあることです。一人ひとりの自覚と行動が何よりも大切であることは言うまでもありませんが、

一人の力は限られています。しかし、一人ひとりが自覚を持って役割を理解し、チームのために力を合わせることであれば、日本サッカーチームのように、強い相手に怯むことなく堂々たる力を発揮することが出来ます。

私たちの目標や取り組み課題は、どれも手ごわく、難しいものばかりです。しかし、「チームワーク」をさらに成長させ、一人ひとりの自覚と行動をもつて取り組んでいくことができれば、必ずや達成することが出来るはずです。

第70期に向けて君津支店全体のチームワークをさらに高め、完全無災害の達成を目指し力を合わせていきましょう！

心のよりどころの1枚

「視点を変えることの意義を 教えてくれる1枚」

2015年に北九州から君津に帰る飛行機から撮影した写真です。手前は伊豆大島、その向こうに富士山が見えます。陸上を10km進んでも、目に見える景色はさほど変わりませんが、地上から10km上になるとこんなに変わるのですね。二次元の世界では見えないものが、三次元の世界では見える。視点を変えれば全く違うものが見えてくるのですね。



大分支店ファミリ 全員が健康で、 安全・安定操業を継続

大分支店長

大塩 昭義さん

全員が健康で、胸を張って
創業120周年を迎えられました

第69期で良かったことは、大分支店ファミリー全員が健康で、胸を張って創業120周年を迎えることができたことです。また、完全無災害も達成しました。さらに、この年で新しく若い仲間が9人増え、世代交代ならびに育成伝承が、少しずつですが進んでいることをうれしく思います。

今年4月に当社の「行動指針」として、①安環防最優先②法令遵守③有言実行が示されました。今後、社員一人にかかる責任が重くなっていくと同時に、生産年齢人口が減少するなか、人材の確保と育成がますます重要になってきます。

チームワークと信頼関係で 何でも言える職場づくりを

第70期の目標は、大分支店ファミリー全員が健康で、安全・安定操業を継続することです。そして、環境・防災リスクの管理とコンプライアンスの徹底で、お客さまから信頼され、皆さんが定年まで、そして体力が続くまで、働きたいと思える支店を築いていきたいと思っています。

創業120周年、これはとても素晴らしいことです。これを機に皆さんに期待したいことがあります。

社風である誠心まじろの文字どおり「言ったことを成す。すなわち信義と愛情をもって約束を守る」を今一度基本として自主自立し、有言実行してほしいと思います。

そして、もう一つは「和」です。「報連相」「風通しの良い職場づくり」が重要視されるなか、その基本はチームワーク、お互いの

信頼関係です。お互いを認め合い、何でも言える職場づくりを意識してほしいと思います。

この7・8月、大分製鉄所内では夏季無災害・無事故62日運動が展開されています。まずは支店ファミリー全員が重点実施事項①作業前のTBM・KY定着化と振り返り②労災隠し・報告遅延防止教育を100%実施できるようになり、本運動を無事完遂し、第70期の良いスタートを切りたいと考えています。

そして一つひとつ、確実に丁寧に仕事を行い、安全・安定の日々を着実に積み上げていきますように。

心のよりどころの1枚

「結婚から現在までの家族写真」

昭和58年に結婚したときから現在までの思い出の写真、数枚「システム手帳」に入れていきます。新婚旅行時のパスポートの写真から始まり、今では孫たちとの写真も加わっています。今日まで、無事に歩んで来られたことに感謝するとともに、家族みんなが「健康で、健やかに過ごせること」を願って持ち歩いています。



安定的な事業基盤の 構築と設計・製造の 負荷軽減・均一化を図る



産機事業部長

楠元 司さん

個々人の実力と総合力が備わり 大型案件を同時平行で業務遂行

第69期を振り返り良かったことは、創業120周年を無事に迎えられたことです。創業以来、諸先輩方から受け継がれた「誠心」の精神と120年の歴史の尊さ、重さを改めて感じ入った次第です。第69期は、お客さま都合による大型案件のキャンセル、また海外外注先の経営トラブルなどにも見舞われ、厳しい事業運営が続きました。致団結して、この難局を乗り切り、第69期を無事に終えることができましたと感じています。

また、当事業部は20・30代の若い世代が主力ですが、大型案件を同時平行的に業務遂行できるようになってきました。個々人の実力と総合力が備わってきた証であると感じています。

さらに、海外調達も軌道に乗り、韓国・中国ベトナムからの製品の品質も安定しています。特にベトナムについては、スーパーバイザー(SV)の熱心な指導と頑張りのおかげで、品質・工程共に良くなり、お客さまからも高評価をいただいています。

安定的な事業基盤の構築と 働き方改革が喫緊の課題

第70期は、安定的な事業基盤の構築と設計・製造の負荷軽減・均一化が重点課題です。第70期以降は、業務提携会社、協業会社とのコラボレーション・業務シェアリングを計ります。営業面では安定的な受注環境を整えること、実行面では設計・製造の負荷の軽減・均一化に注力します。

短納期案件が多く、設計は慢性的に高

負荷状態が続いていますが、働き方改革の時代になり、負荷軽減が喫緊の課題です。また、海外SV業務も限られたメンバーでの対応となっているため、負荷軽減の面からも、現地スタッフの活用も必要です。

そのためには、限られた要員のなかで個々人のさらなる技術力アップと業務改善が必要です。特に他社とのコラボレーションを進めるにあたり、マネジメント力が必要となります。業務改善をしつつ、質の高い仕事ができるようになることを期待します。産機事業部のステップアップに向けて、一致団結して新しいことに果敢にチャレンジしましょう。

心のよりどころの1枚

「飼猫の写真」

20年以上飼っている猫のさくらです。足腰が弱くなっていますが、一生懸命頑張っています。疲れた時に写真を見ると、私も頑張ろうという気持ちになります。



現状の整備技術・ 技能に満足せず 高い目標を叶える

オートライフセンター所長
山内 光春さん

現場力・技術力のバランスの 取れた業務活動で目標達成へ

第69期は、過去を上回る売り上げ新記録を達成することができました。これは、浅川・戸畑両工場の高額案件の獲得や新規顧客の獲得、そして何よりお客さまと真摯に向き合った取り組みによる信頼関係、そして、それに応える現場力と技術力の高さなどバランスの取れた業務活動が達成につながったと考えています。

また、安全においても平成27年休業災害から、今年で3年間軽微災害以上の無災害を継続中です。例年より暑い日が続くなか、熱中症予防にも力を入れ、出張作業時の熱中症リスク対策、定時連絡の実行など、自らの予防意識を持った活動を実行しています。今後の安全活動につなげていくための安全意識の高さに感謝したいです。

整備要員を確保し 安定した車両整備を確立

第70期は、次の課題を掲げます。

- ① 休業災害「ゼロ」の継続
- ② 収益確保に向けての顧客満足度強化
- ③ 自動車・産建機整備社員の人材確保と育成

オートライフセンターでは、ここ半年で数名の退職者が発生し、整備作業が危機的状況となっています。お客さまのニーズにこたえられず、入庫制限を実施中であり、整備要員の獲得は急務だと考えています。業界全体の自動車整備士不足という現状のほか、整備経験者の募集は継続します。また未経験者の受け入れも考え育成強化し、安定した車両整備を確立することが、お

客さまと信頼関係の強化となることと、目標収益確保ならびに無災害の継続につながっていくものと考えています。

いろいろな車両が入庫するなかで、現状の整備技術技能に満足せず、高い目標を持つことで、整備に対する自信と、安全で確実な整備力が発揮できることを期待します。

第69期の実績に対し、第70期は整備要員不足、そして高額案件が未だないことなど、厳しいスタートと考えていますが、お客さまとの信頼関係を大切にしつつ、職場とスタッフの力を結集し、目標に向かっていきます。

心のよりどころの1枚

「還暦祝いの写真」

昨年60歳の誕生日に、子ども・孫たち全員で還暦のお祝いをしてくれました。この写真を見て、孫たちが成長していく姿をたくましく思い、私自身がまだまだ元気で働く意欲が湧いています。



感性とスキルの 向上を図り 継続的な成長を 目指そう



シリコンウェハー事業部長
川添 浩さん

震災を乗り越え各種記録を更新、 皆さんの奮闘に感謝

第69期は受注増を背景に、新人比率が大幅に増加し、指導や見守りに時間を取られる環境のなかで、無災害を継続しました。さらに、品質や生産性の改善が進み、8インチ、300mm共に、赤留まりや生産量の記録を更新することができました。そして、10年越しの懸案であったD棟の稼働が、熊本地震を乗り越えて実現し、出荷した先端製品がお客さまの高い評価を得たことが成果です。皆さんの奮闘に、この場を借りて感謝申し上げます。

要員の確保・育成と市場ニーズへの 対応が課題

- ① タイムリーな要員の確保および、個々の作業者の安全感性と作業スキルの向上
- ② 市場ニーズへの対応

- ・さらなる品質向上と生産性改善
- ・D棟Step2設備の導入と円滑な立上げ(300mm)
- ・ハマダテックとの連携強化(8インチ)

IoTの伸展により、半導体需要は旺盛で、半導体の基板となるシリコンウェハー(以下SW)の需要も伸びて、8インチ、300mm共にSW不足が発生しています。テスト用SW不足を補うために、再生ニーズが強まっています。貿易摩擦の逆風はあるものの、2019年もこの傾向が続くと予想されます。加えて、微細化が進み、品質要求も300mmを中心に厳しくなっています。

リメンバー・改善活動や、 各種イベントへの積極的な 取り組みと参加を

あいさつと報連相をしっかり行い、リメンバー活動、改善活動への取り組みを強化して、より働きやすい安全な職場となることに期待します。行動災害防止に二呼吸を置いた行動、自動設備の動作、音振動には、日ごろから注意をお願いします。

これまで、継続的に改善が進んできました。今期はさらにもう一歩、安全数量歩留まり・稼働率など、期首に設定した指標(目標)で、記録の更新を狙いましょう。風通しの良い職場づくりを目指して、ハマフェスなどのイベントも充実していきたいと思えます。皆さんの積極的な参加を期待しています。

心のよりどころの1枚

「パソコンの背景画面

柴犬の小太郎の昼寝写真」

今年9歳となる朝の散歩のパートナー。外飼ですが、この時はキッチンのテーブルの下で満足気に昼寝。パソコンで疲れた目には、ほっこり。



中長期計画で 掲げる 収益目標を 必達する



大阪事業所長

大貝 満さん

土木工事案件にトライして 計画以上の売り上げを達成

第69期は、大型案件として計画に掲げた工事を逸注してしまいましたが、部門全員の協力で大阪製鐵(株)殿の土木工事案件を受注し、計画以上に売り上げを伸ばせたことが成果です。

第70期は、生産グループ、整備・工事グループ共に、中長期計画や期首に設定した収益目標を必達することが課題です。計画精度を向上させ、新規作業である「還元スラグ処理作業」や「工事の受注」など、変動が見込まれる部分についても、先取りした情報を分析し目標設定を行い、安定した事業所運営を目指します。

大阪事業所を取り巻く環境は、常に変化しており、厳しい環境のなかで少しでも前進した目標を掲げることが大切です。事業環境を安定的にするために、お客さまからの要請や新しいことへのチャレンジを惜しまない思いで取り組んでいきます。また、チャレンジするための余力は、計画内でコントロールできるようにして、さらなる精度向上のため、知識を蓄積するように進めて参ります。

目標値の達成と計画的な改善により 安全で働きやすい職場へ

事業所の一人ひとりが主役となり、全員参加の姿勢で取り組んでいくこと。知恵を出し合い、協力して苦難を乗り越えることで団結力を高める思いです。この連の動きのなかで「風通しの良さ」が定着する事業所となることが理想で、事業所の皆さまにお願いしたいと考えます。

「環境は人を変える」という言葉がありますが、引き続き70期も少しでも職場環境を改善し、安全で働きやすい職場に変えていきたいと考えています。そのためにも、目標値の達成が重要であると考えています。やらなければならぬ修繕や、これに伴う改善を行う費用も、計画に盛り込まれています。これらは先送りできない重要な事項であるため、部門の取り組みを理解していただき、一緒に実行していきましょう。

心のよりどころの1枚

「自動車レースの優勝写真」

世界3大レースの「トルマン24時間レース」で過酷な条件下、1982年ポルシェワークスチームが1、2、3フィニッシュを遂げた時の写真です。ターボ全盛期の完全優勝に、勇気と感動をもらえます。直近では6月に、日本のトヨタが1、2フィニッシュで優勝を飾っています。何年も経験を重ねて最後の1周まで気が抜けない完全優勝に涙が出ます。



見つけた！
Kirari
輝く人

Vol.37

爽やかさの奥に秘める情熱
実直さ、金メダル級

大分支店 整備・工事課

佐藤 勝紀さん(28歳)

2008年4月に入社し、2016年班長に昇進。グループは、60歳代の先輩3人・佐藤さん・後輩2人という構成で、次の世代のリーダーを担うため、業務にも部下指導にも真摯(しんし)に取り組んでいる。

お寿司 10%
貝類は少し苦手息子 50%
休日はいつも息子と遊んでリフレッシュ服 15%
月に1回程度、新しい物を楽しみます

元気の素

音楽 25%
幅広い年代の音楽が好きで感動して涙ぐむことも。歌うのも好き

真面目さには定評あり

自社設備である整粒工場のメンテナンスを担当しています。スクリーン(鉱石を篩う網)やシュートのライナーの取り換えを行ったり、設備の腐食対策を施したりしています。

入社以来、一貫して心掛けているのは、重要事項をしっかりメモに残し、頭にも叩き込むことです。曲がったことが嫌いで、後輩から「真面目過ぎる」と言われたことがあるほど。常に誠心を持って仕事に取り組んでいます。



特に朝のミーティングで伝えられたことは、絶対に守ろうという意志を持って臨みます

仕事を任せ先輩の背中を追う

私には、目標とする人がいます。知識が豊富で、機転の利く対応力や洞察力がすごいんです。実は入社後2〜3年は、言われたことに疑問を感じることもありましたが、さすが、工事連絡者を任せられたとき、「的確なことを言ってくれていた」と気付きました。私も日々経験を積み、その人になりたいです。

現在は、ベテランと若手という両極端の職場で、班長として旗を振らなければならないという責任感を抱くようになりました。これからは、部下指導にも力を入れていきます。



工事連絡者を任されて意識が変わり、班長になって主任がしていた仕事をやってみることで、さらに大変さが分かりました(右が佐藤さん)

家族との時間が心の癒やし

休日は2人の息子と遊んで過ごします。家族で年に数回旅行もしていて、ディズニーリゾートは毎年恒例。年に3回くらい行ったこともあります。将来、息子たちが成人してから、一緒にお酒を楽しむのが夢です。

私のリフレッシュ方法は温泉で、サウナ後の家でのビールも最高! 500mlくらいは飲めますね。最近は、長男の悠翔と、毎週温泉に行くのがマイブームです。



悠翔(はるま・写真左)ちゃんと楓大(はやと・写真右)くんの笑顔に毎日癒やされています

とにかくきれい好き

私の悩みは、きれい好き過ぎること。水回り、特に台所は気になってしまい、水滴を拭き上げないと落ち着きません。ポテトチップスを箸で食べることを、息子たちにも推奨しようとたくらんでいます。

バレーボールの経験があり、支店行事にも積極的に参加しています。グループでバーベキューやキャンプに行くこともあり、私たちの職場はフランクに話しやすい環境です。



大分製鉄所主催のバレーボール大会では、いつもチームの中核として活躍!

私を応援!

気遣い・社交性が抜群

仕事では班長・工事連絡者として客先と接し、普段は若手のリーダーとして、後輩とのコミュニケーションを大切にしている佐藤くん。これからもたくさん経験を積んで、安全で明るい職場づくりを! 頑張れ!



松尾 典明主任

◆次号はシリコンウェハー事業部・製造グループのKirari Kirari Shotaをご紹介します。